



いわみ

## 議会だより



鎌田結士(ゆいと)さん

自分も周りも笑顔になれる様、  
たくさんの友達を作ったのびの  
び育ててほしいです。

(みなみ保育所入所式 4月3日)

## 3月定例会

- 2 10月3日におまちしています 中央公民館オープン
- 4 本会議の質疑
- 12 一般質問は町政にどうかされた
- 13 6議員が町政を質す
- 20 お父さん、お母さんに聞きました

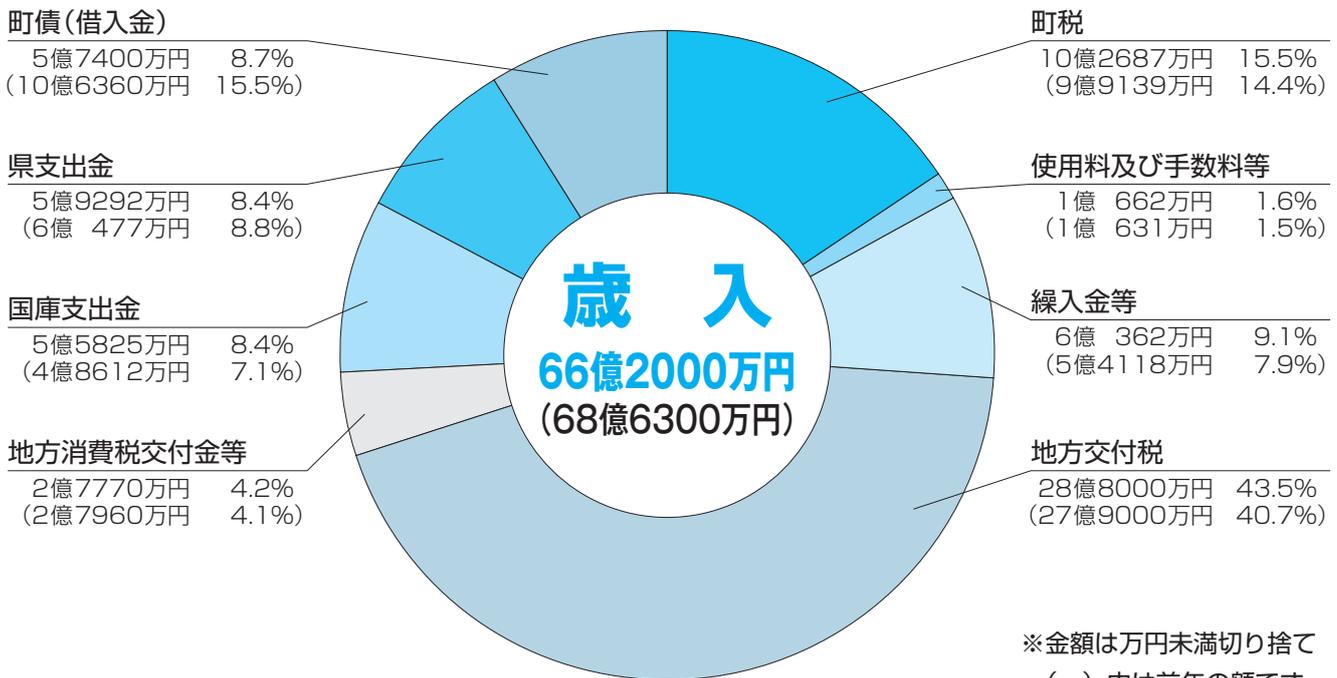
# てい ま す ー プ ン

## ◆3月定例会◆

3月定例会は、3月8日から22日まで、15日間の会期で開きました。

30年度補正予算10議案、31年度当初予算10議案、条例の設定及び改正など20議案のすべてを、原案通り可決しました。

## 入るお金



上図左側の「使うお金」の内訳で、大きな事業と、新規事業の特徴的なもの、及び給与費を掲載いたします。

(万円未満は省略、( )内は前年の額です。)

### 民生費

#### 障害者総合支援事業費

2億9646万円 (2億5015万円)

#### 障害福祉サービスや相談支援の費用

#### 介護保険会計への繰出金

2億3266万円 (2億3298万円)

#### 後期高齢者医療広域連合への負担金

1億5537万円 (1億6640万円)

#### 保育所運営事業費

1億5404万円 (1億4603万円)

#### 町内3保育所の運営費で、多くは人件費

児童手当 1億4870万円 (1億5542万円)

#### 生活保護費

1億3385万円 (1億2144万円)

#### プレミアム付商品券事業費(新規)

2218万円

#### 消費税増税に伴う低所得者などへの商品券の費用

### 衛生費

#### 病院事業会計への繰出金

3億9222万円 (3億8642万円)

企業債の償還金や利子、不採算地区病院の運営や救急医療費などの経費相当額

#### ごみ処理清掃事業費

1億5761万円 (1億4017万円)

収集、焼却などの委託料や負担金など

### 農林水産業費

#### 農産物加工施設整備事業費(新規)

1億1799万円

旧浦富保育所跡地に整備する「婦人の家」の費用

### 土木費

#### 公共下水道会計への繰出金

2億2716万円 (2億2603万円)

# 31年度一般会計当初予算

# 10月3日におまちし 中央公民館才

## 使うお金

### 予備費

200万円 0.0%  
(200万円 0.0%)

### 公債費(借入金の返済)

7億4915万円 11.3%  
(7億3105万円 10.7%)

### 災害復旧費

100万円 0.0%  
(100万円 0.0%)

### 教育費

6億8246万円 10.3%  
(11億7840万円 17.2%)

### 消防費

2億2970万円 3.5%  
(2億 989万円 3.1%)

### 土木費

5億2382万円 7.9%  
(5億5101万円 8.0%)

### 商工費

1億5840万円 2.4%  
(1億6127万円 2.3%)

### 農林水産業費

4億1381万円 6.3%  
(3億3398万円 4.9%)

### 議会費

8447万円 1.3%  
(8471万円 1.2%)

### 総務費

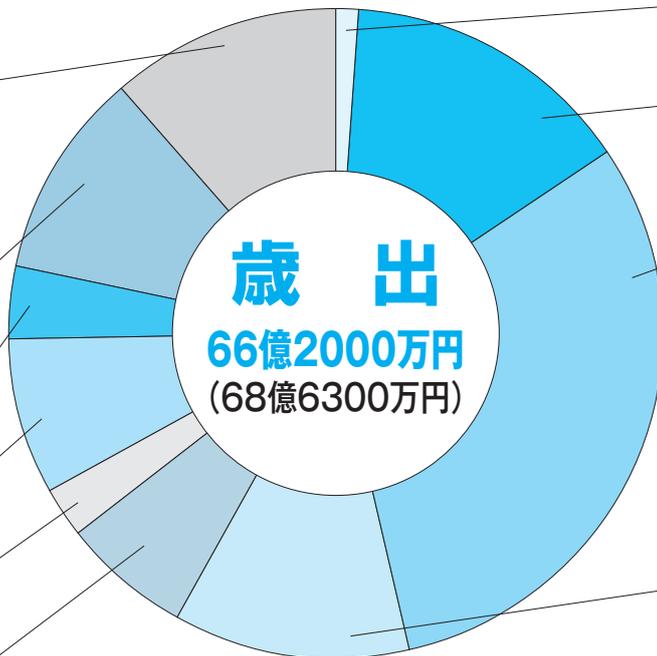
9億4763万円 14.3%  
(9億2204万円 13.4%)

### 民生費

20億4623万円 30.9%  
(19億3271万円 28.2%)

### 衛生費

7億8129万円 11.8%  
(7億5489万円 11.0%)



## 特別会計・企業会計予算額

会 計 名		予算額
特別会計	住宅新築資金等貸付	114万円
	代替バス運送事業	4487万円
	後期高齢者医療	1億3736万円
	国民健康保険	14億8620万円
	集落排水処理事業	1億1662万円
	公共下水道事業	4億9505万円
	介護保険	16億8357万円
企業会計	水道事業	4億4735万円
	病院事業	23億5267万円

企業会計は収益的支出+資本的支出で表示(万円未満切り捨て)

### 教育費

中央公民館整備事業費

2億1389万円 (7億5188万円)

10月3日にオープン予定、事業総額は15億33万円

町営英語塾開設のための費用(新規)

67万円

県立岩美高校内で町による英語塾を開設

### 消防費

東部広域行政管理組合への消防費の負担金

1億7268万円 (1億6480万円)

消防署維持管理の負担金

### 給与費

(報酬又は給料と手当の合計)

議員 12人 4598万円 (4603万円)

町長、副町長、教育長

3280万円 (3280万円)

職員(一般)水道会計の合計)

148人 7億9850万円

150人 7億9996万円

職員(病院会計)

108人 8億7944万円

109人 8億9287万円

# 新年度議案の

# 審議の流れ

## 本会議

31年度関係議案（条例等・予算）  
一括説明・質疑（3月12・14日）

付託

## 常任委員会

31年度条例等審査（3月15日）

## 予算審査特別委員会

31年度予算審査（3月14・15・20日）

報告

## 本会議

各常任委員長報告（条例等）  
予算審査特別委員長報告（予算）  
質疑・討論・採決（3月22日）

# 本会議の質疑

## 一般会計予算

### 地域おこし協力隊に関する事業

**問** 地域おこし協力隊事業費約1100万円、地域おこし協力隊員起業支援費補助金200万円の財源はどうか。

**答** すべて特別交付税で措置される予定である。

**問** 起業支援の対象にならない2人の協力隊員は、今後、どうなるか。

**答** 一人は結婚、出産で退職、別の一人は任期満了で民間企業に就職する。今後もし引き続き町に定住いただける。



地域おこし協力隊の皆さん  
中央の3人は30年度で任期満了



部落開放文化祭で行われている人権講演会

## 部落解放同盟恩志支部活動費補助金

**問** 補助金の内訳はどうか。

**答** 事務費として消耗品等が2千円あまり、活動費として小中学校保護者や女性部会の同和問題に関する学習会、また全国女性集会、部落解放人権確立中央集会、全国人権同和教育研究大会等への参加費、部落開放文化祭に係る経費など約71万円となっている。

## U・J・ターン推進事業費

**問** 30年度に200万円の減額補正をしたにもかかわらず、31年度も30年度当初とほぼ同額の予算だが、どのような計画か。

**答** 集落による空き家改修を補助する見込みであったが、30年度は応募がなかった。  
31年度は、個人による空き家改修の増を見込んでいる。

## 渚交流館指定管理料

**問** 指定管理者の管理規模が拡大され、また世界ジオパークの再認定や外国人対応の増加により、業務が多忙になっている。指定管理料を再検討されたか。

**答** 新施設の利用により収入も増額している。外国人対応は、ジオパーク関連の事業費で別に措置している。今後も、指定管理者と協議する。

## 児童扶養手当と児童手当

**問** 児童扶養手当約5400万円は、昨年に比べて約400万円の増、児童手当1億4870万円は670万円の減だが、なぜか。

**答** 児童扶養手当は、対象者を30年度の状況から6人増の107人を見込んでいる。

児童手当は、実績の状況から出生者数を7人減



指定管理規模が拡大された渚交流館  
左が新施設の更衣・研修棟

の65人、転入者数を20人減の4人と見込んでいる。

## 臨時保育士の賃金

**問** 賃金の予算600万円の増額はなぜか。

**答** 保育士の処遇改善のため、賃金単価を500円増の8400円とした。

## 消防団員退職報償金

**問** 例年より退団者が多くなっているが、補充状況はどうか。

**答** 31年度に17人退団予定で、補充は9人を見込まれ、既にある欠員を含め25人の欠員となる。引き続き各消防分団に補充促進したい。

## スポーツ・文化合宿誘致促進事業費

**問** 昨年初より増となっているが、合宿団体が利用する施設の、町民との利用調整はどうか。

**答** 30年度は利用が多く増額補正した。主に夏休みなどの長期休業中の利用になるが、町民の利用に支障がないよう調整している。

## 土曜授業

**問** 教職員の勤務体制や意識の高揚など、課題解決の状況はどうか。

**答** 本町のほか、近隣市町で土曜授業を行っているため、教員の中にいろいろな意見があるが、理解を求めながら実施している。  
引き続きアンケート調査で、保護者や生徒、学校教職員の意向を把握しながら課題解決に取り組む。



介護保険の生活支援体制整備事業で  
社会福祉協議会が行うふれあいサロン

## 介護保険特別会計予算

### 生活支援体制整備事業

**問** 約635万円の事業費の内訳はどうか。

**答** 生活サポート養成事業、ふれあいサロンなどを社会福祉協議会に委託しており、担当職員1人分の人件費541万円を含んでいる。

## 水道事業会計予算

### 未処分利益剰余金

**問** 当年度未処分利益剰余金1億6233万円を、どう処分する見込みか。

**答** 33年度までは黒字だが、34年度から赤字に転じ、その後も人口減少で赤字が続く見込みである。このまま計上したい。

# 予算審査特別委員会の審査

31年度の予算に関する10議案を審査するため、議長を除く議員全員で構成する予算審査特別委員会(澤治樹委員長)を設置しました。

特別委員会は、総務教育、産業福祉の各分科会で分担して審査し、各分科会委員長の報告をもとに予算議案全体の審査を行いました。

その結果、いずれも原案のとおり可決すべきものと決定しました。

## 一般会計

### 〔歳入〕

**問** 町税の徴収と滞納整理にどう取り組んでいるか。

**答** 税負担の公平性の観点から、厳しい姿勢で町税の徴収と滞納整理に取り組んでいる。  
引き続き、鳥取県地方税滞納整理機構に参加し、県と合同で「個人住民税徴収会議」を開催し、滞納整理に取り組む。

### 〔歳出〕

#### 交通政策企画調整費

**問** ゆめぐりエクスプレスバスの運行協議会負担金の用途は何か。

**答** 関係市町である鳥取市、新温泉町、岩美町及び日本交通株式会社が負担している。  
町の予算は、パンフレット作成及び新聞広告などの広告費用に使用されている。

#### 子どもの居場所づくり推進事業

**問** 岩美子ども食堂の利用状況と、郵便局や、いわみ道の駅が取り組んでいる食材の寄附はどうか。



道の駅スタッフが出荷者からの食材の寄付を取りまとめて子ども食堂へ提供

**答** 南・西小学校からの参加もあるが、北小学校の児童が大半であり、申し込みが多いため定員が20人から30人に変更された。

食材の寄附は、東部圏域の各郵便局が寄付を募り、圏域内の子ども食堂に提供している。  
いわみ道の駅は、出荷者からの寄附を取りまとめている。

他にも、地元の方やとつとり子ども未来サポートネットワークなどからも提供を受けている。

#### 生活困窮者自立支援事業

**問** 生活保護になる前に自立支援を行うことが重要だが、今後、何を重点として取り組むか。

**答** 福祉課及び岩美町社会福祉協議会が役場の各関係課と連携するため、「生活困窮者自立支援連絡会」を設置して情報を共有している。  
連絡会などで把握した方も含め、相談に来られるのを待っているのでは



すこやかセンターまつりでストレスチェックを体験

なく、訪問支援などにより積極的に取り組んでいる。

#### 自死対策事業

**問** 自死数の推移と事業の取り組み内容はどうか。

**答** 毎年数名で推移している。

自死を図った人の多くにうつ病に伴う睡眠障害があることから、睡眠の大切さを広報いわみやイベントで啓発している。  
また、すこやかセンターまつりで、唾液アミラ

ーゼチップによるストレスチェックを行っている。

#### 森林景観対策

**問** 森林景観対策の中止の理由は何か。

**答** 24年度から網代、田後と西から順に実施し、30年度は陸上を実施して町内の国立公園内を一巡した。  
県と巡視したがまとまった枯れ松が無かったため休止とした。  
巡視は継続して実施する。

## 特定新規学卒者 就職支度金補助金

**問** どのような制度か。

**答** 新規学校卒業者のうち、特に援助を必要とする身体障がい者などの就職に対し、1人当たり2万5千円の就職支度金を支給するものである。

## 国立公園内の樹木伐採

**問** 城原、鴨ヶ磯展望所の眺望向上のための伐採を予定しているが、自然公園法との調整はできているか。

**答** 国立公園の特別保護地区であり、環境省の許可が必要のため、浦富自然保護官事務所と協議済みで、現在は許可申請の手続きを行っている。

## ゆかむりギャラリー

**問** 管理と周知をどのようにしているか。

**答** 岩井の旅館組合に管理を委託し、岩井温泉の通りに面した花屋旅館本

館の一室を借りて、尾崎翠に関する資料を展示している。

**問** 周知は、観光パンフレットに掲載し、看板も掲げている。

## スポーツ・文化合宿 誘致促進事業

**問** 競技によって人数も異なるが、どのような考え方で見込んでいるか。

**答** 過去の実績から1団体当たり20人を見込んでいる。

**問** 町民の施設利用に配慮しながら取り組んでいきたい。

## 代替バス運送 事業特別会計

**問** 町営バス車両を7〜8人乗り程度の車両に小型化して増便してはどうか。

**答** 現在の朝夕の利用者数を考慮すると対応できない。

**問** 女性ドライバーを募集して人材確保に結び付けてはどうか。

**答** 男性に限らず女性ドライバーも募集している。

**問** 町民の交通手段を確保するため、議論する場を設けてはどうか。

**答** 今後、公共交通全体を議論する場を設けて、様々な角度でより良い方法をしっかりと考えていきたい。

## 公共下水道 事業特別会計

**問** 長寿命化計画と下水道ストックマネジメントの違いは何か。

**答** どちらも計画的な維持修繕及び改築を行うことで施設等の延命化を図り、良質な下水道サービスを持続的に提供することを目的としている。

**問** 32年度までの長寿命化計画は、個別の下水道施設ごとに改築方針を定めるものであるのに対し、33年度からのストックマネジメントは、処理場、管渠、マンホールポンプ場などの下水道施設全体

を一体に捉え、事業全体の最適な修繕、改築を実施するものである。

## 病院事業会計

**問** 岩美病院の地域包括ケアの取り組みはどうか。

**答** 超高齢社会が間近に迫っており、住民を支えていくためには、保健・医療・福祉等サービスを総合的に提供していく必要がある。

**問** 中でも岩美病院は、保健・福祉・介護の連携施設であるすこやかセンターの核となり、けん引していかなくてはならないと認識している。

**答** 本年度から訪問診療日を週4日から5日に増やし、町内の介護施設などへの訪問も始めることとした。

**問** 引き続き、地域包括ケアの中心的役割を担い、在宅支援を進めていく。

**答** 町民の命とともに、すべての町民の安全安心な暮らしを守ることが、すこやかセンター並びに岩美病院の責務である。



伐採前

国立公園内の樹木伐採  
(東浜展望所)



伐採後

# 30年度補正予算

30年度補正予算10議案を3月8日に審議しました。その概要は次のとおりです。

## 一般会計

1億5816万円追加し、73億7638万円としました。

## 【歳入の主なもの】

### 町民税

750万円増額

退職所得の増、企業の業績好調、大手建設法人の事業所開設による増。

### 地方交付税

1億5971万円増額

財源留保分を計上。総額28億8千万円。

## 【歳出の主なもの】

### 担い手確保・経営強化支援事業

286万円増額

認定農業者が規模拡大や省力化のため、農業機械導入を補助する。



認定農業者の規模拡大や省力化に伴う農業機械導入を支援

## プレミアム商品券事業費

135万円

10月の消費税引き上げに伴い、低所得者や子育て世帯にプレミアム付商品券を販売するための準備経費。

## 地方バス路線維持費補助金

992万円

岩井線を運行する民間バス事業者へ、国庫補助対象外部分を補助する。

## 公共下水道事業特別会計

### 水洗便所等改造資金制度融資事業費

58万円減額

**問** 新規貸付がなかったものだが、その要因をどのように考えているか。

**答** 一般金利のほつが安ということがある。

## 指定管理者の指定

指定管理者の更新時期を迎えた2施設について、31年度から引き続き次の団体を指定管理者にすることに決定しました。

施設名	管理者	期間
小羽尾児童遊園	小羽尾部落	5年間
婦人の家	岩美町振興公社	1年間

注：婦人の家は、県道拡幅工事に伴って移転するため、期間を1年間とする。

## 人事

固定資産評価審査委員会委員の選任に同意しました。

任期は、31年4月1日から3年間です。

木村 正弘さん(太田)

人権擁護委員候補者の推薦に同意しました。

任期は、31年7月1日から3年間の予定です。

井上 慎一さん(浦富)

## 1月23日臨時会

### 岩美北小学校空調整備工事の請負契約の締結

請負代金 5637万円

完成期限 3月29日

(のちに5月31日に変更)

請負者 福上工業

全員一致で可決

# 3月定例会の審議結果と賛否の状況

【全員一致で可決、承認等した議案】

議案		議案		
30年度補正予算	一般会計補正予算（第8号）	指定管理者ほか	損害賠償の額の専決処分の承認	
	住宅新築資金等貸付特別会計補正予算（第1号）		小羽尾児童遊園の指定管理者の指定	
	代替バス運送事業特別会計補正予算（第2号）		婦人の家の指定管理者の指定	
	後期高齢者医療特別会計補正予算（第2号）		東部広域行政管理組合規約の一部変更協議	
	国民健康保険特別会計補正予算（第3号）		町有財産の譲渡（外邑振興会館）	
	集落排水処理事業特別会計補正予算（第1号）		岩美北小学校空調整備工事の請負変更契約の締結	
	公共下水道事業特別会計補正予算（第3号）		固定資産評価審査委員会委員の選任同意	
	介護保険特別会計補正予算（第3号）		人権擁護委員候補者の推薦（諮問）	
	水道事業会計補正予算（第1号）		一般会計予算	
	病院事業会計補正予算（第1号）		住宅新築資金等貸付特別会計予算	
条例設定・改廃	特別職の職員の給与に関する条例の一部改正	31年度予算	後期高齢者医療特別会計予算	
	私債権の管理に関する条例設定		国民健康保険特別会計予算	
	特別医療費助成条例の一部改正		集落排水処理事業特別会計予算	
	国民健康保険条例の一部改正		介護保険特別会計予算	
	水道事業の布設工事監督者の配置基準及び資格基準並びに水道技術管理者の資格基準に関する条例の一部改正		病院事業会計予算	
	外邑振興会館の設置及び管理に関する条例廃止		議員発議	町長の専決処分の指定事項の一部改正
	特別職の職員の給与に関する条例の一部改正			現消防体制の組織維持に関する決議
	町職員の不祥事に関する調査特別委員会の設置			
			総務教育、産業福祉常任委員会の所管事務調査	

【賛否が分かれた議案】

提出者	議案	審議結果	賛否の状況
町長	31年度代替バス運送事業特別会計予算	可決	反対：杉村 宏
町長	31年度公共下水道事業特別会計予算	可決	反対：杉村 宏
町長	31年度水道事業会計予算	可決	反対：田中克美、杉村 宏
議員	議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部改正	可決	反対：杉村 宏

## 議案審議の討論

### 代替バス運送事業特別会計予算

**反対**（杉村 宏議員）

運行委託料の大幅な増額について、①運転手不足を理由にしているが、町内の運転手は確保されている。②委託料算出にあたり、非運行時間全部を町負担とするなど納得できない。③説明しきれないまま、町民の足を守るためと言って押し通せば、また同じことが繰り返される。

### 水道事業会計予算

**反対**（杉村 宏議員）

当年度未処分利益剰余金が1億6268万円に増加しており、早急に処分の方針を示すべきである。

### 議員報酬及び費用弁償に関する条例の一部改正

**反対**（田中克美議員）

生計費非課税の近代税制の原則に反する。

### 公共下水道事業特別会計予算

**反対**（杉村 宏議員）

消費税引き上げに対しては、前町政の表明とおり、下水道使用料に転嫁せず、据え置くべきである。

**反対**（杉村 宏議員）

報酬審議会の答申を受け、議員報酬を0・06%、期末手当を0・05月分引き上げるが、施行は保留するとするもの。

26年に議会改革調査特別委員会が、議会中継の手法や範囲、議会基本条例などを、改選後の議会に委ねると報告しながら、放置したままでは、議員報酬の引き上げに同意できない。

# 請願等の審査結果

件名	結果	不採択の理由	賛否の状況
消費税10%引き上げの中止を求める意見書提出の請願書 提出者：鳥取民主商工会 会長 奥田清治 外4人 紹介議員：田中克美	不採択	増大する社会保障費の財源に充て、さらに子育て世代を含めた全世代型社会保障への大きな転換と財政健全化を同時に実現するためのもので、軽減税率は、低所得者の負担軽減効果があり、インボイス制度は、益税の発生が抑制され、事業者間の税負担が公平になるといわれている。	採択 升井 祐子 杉村 宏 田中 克美
後期高齢者の医療費窓口負担の「原則1割」の継続を求める請願書 提出者：鳥取県社会保障推進協議会 会長 藤田安一 紹介議員：田中克美	趣旨採択	—	採択 田中 克美
全国知事会の「米軍基地負担に関する提言」の主旨に基づいて、地方自治の根幹を脅かす日米地位協定の見直しを国に求める意見書を提出する事を求める 提出者：日米地位協定を見直す会 共同代表 難波希美子	不採択	尖閣諸島周辺では、海の荒れ日以外は、中国船が活動し、日本の施政権が脅かされることが懸念される。現状では日米安全保障条約により、米軍が必要不可欠と思われ、飛行訓練の騒音や事故の危険性に対する住民の不安について、日本政府は平成29年1月に日米地位協定の適用範囲の厳格化を含めた軍属に関する補足協定に署名するなど、一貫して適切な運用改善を進めている。	採択 杉村 宏 田中 克美
奥山等のスギ・ヒノキ放置人工林を、森林環境譲与税（仮称）で順次計画的に皆伐を進め、天然林に戻すことを求める陳情書 提出者：一般財団法人日本熊森協会 会長 室谷悠子	趣旨採択	—	全員一致

## 請願等の討論



**消費税10%引き上げの中止を求める意見書提出の請願書**

**採択**（杉村 宏議員）  
消費税の増税は、逆進性を更に拡大する。

**不採択**（吉田保雄議員）  
国の歳出に対する税収は約6割で、不足分は国債で賄っている。  
若い世代に国債の返済を丸めてはいけない。

**不採択**（寺垣智章議員）  
社会保障制度の維持と財政健全化を同時に達成するために必要。

**採択**（升井祐子議員）  
数度の消費税増税のたびに国の税収は下がり、財政赤字は導入時の10倍、介護保険料の全国平均は、18年間で2倍になり、社会保障は負担増。

**不採択**（田中克美議員）  
消費税は、増税すべきでない。

**日米地位協定の見直しを求める意見書提出の陳情**

**採択**（田中克美議員）  
米軍機などに国内法の適用がないことが問題。  
ドイツやイタリアでは、米軍機事故が原因で、交渉によって地位協定を改定している。

**不採択**（寺垣智章議員）  
日米同盟の深化の観点から、見直しではなく運用改善で対応すべき。

**採択**（杉村 宏議員）  
国内の米軍基地負担は、日本全体で賄うべきで、その負担軽減の責任は政府にある。

**不採択**（升井祐子議員）  
中国は、敗戦国の日本に琉球の領有権はないと主張し、尖閣諸島周辺を軍艦が航行している。  
米軍がいなくなれば、今の自衛隊では日本を守る機能を果たせない。

**後期高齢者医療窓口負担の原則1割継続を求める意見書提出の請願書**

**採択**（田中克美議員）  
高齢者世帯の27%が貧困状態にあり、経済的理由による治療拒否などが4割を超えるという調査結果がある。  
大企業が中小企業並みの税負担をすれば、現行の1割負担を維持できる。

# 審議会答申を受け入れる 実施時期は決めます

昨年12月議会会で設置した議員報酬調査特別委員会は、昨年11月26日付の特別職報酬等審議会の答申を受け入れること、引き続き議論を重ねるため特別委員会の活動を継続することを決めました。



議員報酬調査特別委員会

## 【委員会設置の経過】

前期議会は昨年6月、特別職報酬等審議会に議員報酬について諮問し、11月26日付で答申がありました。

7月の改選で5人の議員が新たに選出されたことをふまえ、議長が、答申に対する方針決定にあたって、議員報酬について議論する場を持つことを提案。全員一致で特別委員会設置を確認し、12月議会会で設置しました。

## 【委員会の目的】

- 1、答申に対する方針を決めること。
- 2、議員報酬について議論し、共通認識を持てるようにすること。

## 【委員会の議論の経過】

**1月23日** 自治体議員の報酬について、自治法の規定と自治省部長通知の内容及び全国町村議会議長会の問題意識を確認しました。

**2月13日** 4つのテーマについて議論。①町村議員の報酬はどのように考え、決められてきたか。②議員報酬は「生活給ではない」ことは、自治体議員に共通だが、県・市議と町村議員では格差が大きい。「常勤性」の違いが指摘されているが、町村議員の公的活動の範囲を定め、公的支給額を検討することになるのではないか。③報酬審議会で決めてもらえばいいのか。④町民の理解と納得を得るために何が必要か。

**2月20日** 参考資料4文献について、4議員の発言を受けて議論。

**2月27日** 答申そのものについて議論。議論の途中で委員長から次の内容を提案。①答申を受け入れる。平成26年12月当時の議会は、報酬決定の手続きとして審議会設置に全員一致で同意した。第三者の判断によって公正な結論を得るという目的で審議会を設置し、諮問しながら、法的には答申に拘束されないとして、「受け入れない」と判断するわけにはならない。答申を最大限尊重すべきものと考える。②ただし、執行に留保条件をつける。

一般質問や議案審議の充実に必要な質問力の向上をめざし、研修会を2回開催します。  
2月27日には、全国町村議会議長会の横田氏を講師に招き、開催しました。

## 力強い質問を開き 議員の質を向上させる 研修会の開催

4月22日には、龍谷大学の土山希美教授を招きます。  
土山教授の講義を聞くとともに、町議会の過去の質問を教材に事例研究を行なっていただく予定です。

町職員に関わる不祥事が続いた。議会としてチェック機能の問題として受け止め、議会の役割を果たしていくために、この間の議論をさらに深める作業を続け、当分の間は、執行を留保することにした。提案に対し、委員11名中10名が同意、1名が「答申を尊重するが、受け入れには同意できない」と不同意。

**3月19日** 今後の委員会の方角について、委員長が次のことを提案。  
答申に対する方針は決定したが、議員報酬について認識を深めることは、道半ばである。

特別委員会の議論は議会活動のあり方や議員一人ひとりの活動の向上の問題に発展してきており、議会と議員のあ

り方や町民との関係を追求しなければならぬという認識を共通にしつつある。議員報酬特別委員会として、引き続き議論を重ねていきたい。提案に全員が同意し、特別委員会の活動を継続することを確認しました。

## 議論のための主な参考文献

- ◆自治法及び解説書 ◆土山希美枝論文「自治体議員定数と報酬の『適正水準』を考察する」 ◆都道府県議会制度研究会報告書「自治体議会議員の新たな位置付け」 ◆堀内匠論文「自治体議員報酬の史的展開」 ◆江藤俊昭論文「問われる議員定数報酬―住民自治の進化深化の視点から考える―」 ◆葉山町議会報告書「議員報酬のあり方について」

# 一般質問は町政に どういかされた？

年4回の定例会では一般質問が行われ、町政を質すとともに、さまざまな提言を行っています。

## 小学校にエアコン

**提言** 町内小学校の普通教室全てにエアコン設置を。

(28年12月・29年12月議会)

**成果** 31年1月に小学校空調整備工事を発注。

6月までに完成予定。  
(30年度補正予算)

## 全事業所の状況把握

**提言** 町内の全商工業事業所に向いて、状況の聴取、調査を。

(30年6月議会)

**成果** 全事業所調査を行った。

内容を分析し、今後の商工行政にいかす。  
(30年度実施)

## 避難所にテレビ

**提言** 災害の際に避難者が情報を入手する手段として、指定避難所にテレビ、ラジオの設置を。

(30年9月議会)

**成果** すべての指定避難所に、テレビが視聴でき

る環境を整備する。

(31年度予算)

## 自動ブレーキに補助

**提言** 高齢者の、自動ブレーキ（衝突被害軽減ブレーキ）搭載車乗換に補助を。

(30年9月議会)

**成果** 70歳以上で、衝突被害軽減ブレーキ搭載など先進安全自動車乗換に町の助成を行う。

(31年度予算)

## 地元負担率を軽減

**提言** 災害復旧工事などを行うとき、地元、受益者負担率の軽減を。

(30年9月議会)

**成果** 災害復旧事業だけでなく、町は各種事業の地元（受益者）負担率を見直し、軽減を行う。特に小規模、高齢率の高い集落には、更に負担率を軽減する。

(31年度施行)

## 不育検査などを支援

**提言** 不妊症検査、不育症検査・治療に支援を。

(30年9月議会)

**成果** 不妊症検査には、県の助成に上乗せで、町の助成を行う。

不育症検査・治療には町独自の助成を行う。  
(31年度予算)

## ハザードマップの活用

**提言** ハザードマップの有効活用の検討を。

(30年12月議会)

**成果** 県の洪水浸水想定見直しに伴い、ハザードマップを更新し、全戸に再配布する。

(31年度予算)

復旧前



30年豪雨で被災した農地を復旧（鳥越）

復旧後



## 県内初の 公営塾

総務教育常任委員会は、30年10月26日に岩美高等学校の魅力向上を目的に、広島県大崎上島町、県立大崎海星高等学校の行政事務調査を行い、町が無料の公営塾を実施し、学習環境の整備を行っていることを報告しました。

町は31年度、岩美高生を対象とした英語塾を、公営塾として実施します。

自治体の公営塾は、県内初の取り組みです。岩美高等学校の魅力が向上し、生徒から選ばれる学校になることが望まれます。

# 一般質問

## 6議員が町政を質す

ただ

一般質問は、議員が自らの調査・研究、住民の声にもとづき、町執行部の方針を質し、見解を明らかにさせるものです。

結果として「現行の政策変更」や「新規政策を採用」させるなどの効果があります。

### 【質問のルール】

事前に質問要旨を通告し、議長の許可を得て質問します。

質問時間は1人30分以内（答弁の時間を除く）で、一問一答方式で何度でも質問できます。

### 3月定例会の一般質問（登壇順）

質問議員	ページ	質問事項（通告書のまま）
森田洋子	14	1 支え合いの地域福祉について 2 老朽化に伴う公共施設の利活用について
川口耕司	15	1 有害鳥獣対策の強化について 2 災害時における長期化停電の対応について
吉田保雄	16	1 町内の観光事業関係活性化の取り組みについて 2 学童通学路の安全管理について
杉村 宏	17	1 下水道使用料は実質据え置きを 2 国民健康保険税の制度変更の検討を 3 岩美病院の体制は 4 固定資産評価は、資産価値に着目で
田中克美	18	1 子どもの均等割保険税の軽減について 2 消費税10%増税の影響について 3 自衛官募集業務への協力の在り方について
升井祐子	19	1 予防医療で健康寿命を延ばし医療費の抑制を

議会だよりでは、内容を要約してお知らせします。

詳しくは、6月ごろから議会事務局や議会ホームページでご覧いただけます。

## 地域福祉に今後どう取り組むか

森田洋子議員

## 高齢者、障がい者の社会参加を支援

西垣町長



森田洋子議員

かかっているか。

**町長** 地域の要援護者を支える体制づくりに取り組む、自治会や自主防災組織に助成する事業だ。

地域に説明会を行い、一緒に推進したい。

**森田** 第3期地域福祉計画は本年が最後の年となる。本町はどうしたいのか。

**町長** すこやかセンターを中心に、社会福祉協議会や民生児童委員など関係機関と連携し、地域全体で支え合いの体制づくりを進めている。

高齢者や障がい者の方が、積極的に社会活動に参加できるように支援していきたい。

**森田** 社会福祉協議会の見守りネットワーク活動支援事業に、本町はどう

健康長寿課の相談窓口には1カ月に何人来られるか。またひきこもり支援策は。

**町長** 相談件数は、月に1件から2件である。

相談支援を委託し、うるおい広場を月1回開催している。参加者は3人から4人で、30年度は1人が作業所の通所につな

がった。引き続き、個々の状況に応じて段階的支援をしていきたい。



支え合い体制づくりのため社会福祉協議会の説明を受ける地域住民

## 公共施設の利用計画を

森田洋子議員

## 利活用案を作成したい

西垣町長

**森田** 今ある建物をいま一度検証し、地域のコミニティーなどで活用するという観点から、今後の就業センターの活用はどうか。

**森田** 小田交流館の旧小田小学校は、若美障がい児者親の会ぴゅあふれんずが交流の場として利用している。今後についてはどうか。

**町長** 今後、恒常的に使用する施設とは考えていない。当面は資機材の保管倉庫などでの活用をと考えている。

**町長** ぴゅあふれんずの利用と、災害用連携備品等の保管倉庫としている。現状を継続し、取り壊しを検討していく。

**森田** 旧若美病院の利用状況と今後について伺う。

**森田** 公共施設の利用計画案を作成してはどうか。

### 平井病院事業管理者

イベントの物資、町のごみ袋、図書館の図書などを保管する倉庫として

**町長** 各施設の利用状況をまとめていく。公共施設の利用案を、作成していきたい。

いる。21年度から若美現代美術展として開催、作品や材料備品等を保管している。今後は、取り壊す計画だが、時期は決まっていない。現状の継続を考えている。

## 鳥獣被害の防止対策の強化を

川口耕司議員

### 被害軽減に取り組み

西垣町長



川口耕司議員

総事業費は1940万8000円で、内容はワイヤーメッシュ、電気柵、複合柵等、3年間で約22キロメートルの事業を実施している。

**川口** 野生鳥獣による農作物被害が年々増加傾向にある。

国は、鳥獣被害を軽減することを目的に、鳥獣被害防止総合対策交付金制度を設けているが、28年度から30年度の利用状況はどうか。

**町長** 鳥獣被害の状況は、28年度は被害面積が3・3ヘクタールで362万8000円、29年度、3・9ヘクタールで433万2000円、30年度は2・3ヘクタールで259万円である。

国の3カ年の交付金の

**川口** 狩猟免許取得及び更新に係る経費の助成については27年度から取り組んでいるが、年度ごとの免許取得者の人数と捕獲状況はどうか。

**町長** 27年度の取得者は9人、捕獲頭数は47頭、28年度は3人で31頭、29年度は16人で8頭、30年度は2人で捕獲実績はない。

**川口** 免許取得された方で、免許の更新と狩猟登録の更新をされない方がいるようだが、現状はどうか。



鳥獣被害対策として捕獲されたクマ

**村島産業建設課長**

狩猟登録は毎年更新で、猟友会が代行して行っているが、高齢などで更新をされない方もいるようだ。

**川口** 鳥獣被害対策実施隊設置の、その後の取り組み状況はどうか。

**町長** 猟友会との協議の中で、鳥獣捕獲は猟友会で実施しているので、立ち上げる必要はないとの意見があった。

実施隊は、集落内に出没した場合の追い払いなどを目的とした活動を考えている。

## 災害時の長期化停電の対応は

川口耕司議員

### 拠点施設は自家発電で対応

西垣町長

**川口** 災害時において活動拠点となる町の施設や、福祉避難所として協定を締結している介護施設及び医療機関における、非常用発電機の設置状況はどうか。

の電気保安業務で起動点検、起動確認を行っている。

役場については、停電の都度、切り替わることが確認できている。

**町長** 指定避難所には、自家発電の設備はない。

災害対策本部を設置する役場本庁舎は、自家発電施設によって非常用室内照明や電算室などへの電力供給を行う体制をとっている。

自家発電設備があるのは、協定を締結している11介護施設のうち3施設と若美病院である。

**川口** 非常時に発電機を使う訓練はどうか。

**町長** すべての電源を落とすことはしていない。

自家発電設備は、毎月

**平井病院事業管理者**

医療中断が生命に影響する人工呼吸器や人工透析など、災害により停電になれば生命のリスクが高まる。

生命維持機器を72時間連続稼働できる、非常用自家発電装置を持って医療に取り組んでいる。

### 外国人観光客の救急体制は

吉田保雄議員

対応できている

平井病院事業管理者

めに、町営バス、日交バスの観光客乗り放題を。

**町長** 現在、日交バスが東部一円で、3日間有効の乗り放題手形を、1800円で鳥取営業所から発売している。

**吉田** 増加する観光客と関連事業を鑑みて、岩美高校に外国語の講座の提案はできないか。

**寺西教育長** 来年度の予算の中で、岩美高校の魅力を発信していくため、英語塾の開設のお願いをしている。

**吉田** 外国人観光客の受け入れに関して、病院の救急体制はどのような状況か。

病院事業管理者

病院の救急の受け入れ

態勢で、外国の方は、英語圏の方については医師の対応はできている。救急の診察室に中国語、韓国語に翻訳された診察マニュアルを整備している。

インターネットのアプリで言語翻訳されたものなどをもちいている。

多言語通訳サービスを導入している観光会館



### 通学路の安全管理は

吉田保雄議員

見守りに皆様のご協力を

寺西教育長

**吉田** 町は岩美町通学路安全プログラムを設定し実施しているが、日暮れや雨天の安全についての配慮並びに、学校周辺だけでなく、各集落の中まで安全対策の推進が必要と考える。今後の対応や計画はどうか。

**教育長** 27年度に推進会議を立ち上げ、定期点検、対策の実施、対策後の効果を検証して、一層の安全対策に努めている。

荒天などには、集団下校や教師引率などを行っている。

集落内については、ボランティアや保護者が子どもたちを見守っていたりしており、感謝を申し上げたい。

防犯カメラの設置は考えていないが、安全プログラムの中で協議していく。

**吉田** 現在工事中の、新井地区内の県道と国道の交差点は、どのような通学路になるのか。

村島産業建設課長

県道と国道が直交するT字型交差点で、交差点付近の歩道は県道、国道共に2・5メートルの幅員で計画されており、交差点は、横断歩道で渡るようになっている。

また、交差点の見通しが良くなるように、岩井方面側の山切り工事も行われる。

**吉田** 29年と30年の、町内を訪れた観光客と宿泊客はどれくらいか。

**西垣町長** 29年の観光客数は44万9000人、宿泊客3万6186人。30年は、集計中。町独自推計の宿泊者数は3万4905人だ。

観光会館にテレビ電話多言語通訳サービスを導入し、英語版の観光パンフを作成し、外国人おもてなし講座などを開催して、観光客誘致に取り組んでいる。

**吉田** 観光客を増やすた

## 下水道使用料の据置きを

杉村 宏議員

## 通常の経費削減に努めた

西垣町長



杉村 宏議員

すべきだ。

**町長** 2%削減のためという考えではない。

**杉村** 大山町長は、マイナ情報こそ伝えるものと適切に広報している。立派な姿勢だ。

## 国民健康保険の制度変更を

杉村 宏議員

## 現行の割合を基本とする

西垣町長

**杉村** 国民健康保険税の、応益負担の被保険者均等割と世帯別平等割は、軽減を行ってはいるが、人頭税と同様だ。

応益割合を軽減し、応能割合を増す制度変更を行わないか。

**町長** 約6割が軽減対象だ。現行の割合を基本として対応する。

## 救急医療の不採算は

杉村 宏議員

## 4千万円の赤字だ

平井病院事業管理

**杉村** 岩美病院の29年度決算で、未処理欠損金が9億6789万円。31年度当初予算で、一般会計から病院会計に3億9222万円支出だ。

4000万円の赤字だ。

「救急医療などの不採算部門の運営にも努めている」とある。

**杉村** 大事な病院だ。町民と共有した上で、支えている認識を深めたい。但馬区域から東部への流入が1日133人ある。町外の方はどうか。

救急医療は、どの程度の不採算か。

**病院事業管理者** 救急受診のうち新温泉町は15・4%だ。

**病院事業管理者** 外来1500万円、入院2500万円、両方で

**杉村** 周辺自治体と共通の認識とすべきだ。

## 固定資産評価は資産価値で

杉村 宏議員

## 資産価値のみに着目する

澤税務課長

**杉村** 無償貸し付けを固定資産の土地の評価に斟酌させる町長発言があり、「町長の言われたとおり」と29年9月に税務課長は答弁した。固定資産税に

おける評価は、資産価値のみに着目するものだ。税務課長、どうか。

**税務課長** 資産評価のみに着目し評価するものだ。

**町長** 2%を吸収するためではなく、通常の経費削減に努めた。

**杉村** 通常の経費削減は当然だ。以前、表明したけれども、申しわけございませんでしたと、広報



町民の健康をまもる岩美病院

### 自衛隊への情報提供はやめよ

田中克美議員

### 情報提供は条例に違反しない

西垣町長



田中克美議員

**田中** 町は自衛隊に、18歳になる男女の名前、住所、生年月日、性別を、紙で提供してきた。

根拠にしている自衛隊法97条と同法施行令120条は、情報提供する根拠にならない。

住民基本台帳法は、国に閲覧を認めるだけだ。

町は自衛隊に個人情報を提供する義務はない。

**町長** 住基法は、提供を否定していない。

**田中** 否定の規定がないのは、想定外だからだ。

個人情報保護条例10条

### 子どもの均等割を軽減せよ

田中克美議員

### 国の責任でやるべきだ

西垣町長

は、本人の同意がある場合以外、町以外の者への提供を禁止している。条例違反ではないか。

**町長** 自衛隊法に基づく依頼なので、条例には抵触しない。

**田中** 国税徴収法では情報提供の根拠が明記されている。住民基本台帳法では、国は閲覧できると明記し、提供する義務は規定していない。町長の根拠は、住民基本台帳法に自衛隊への個人情報の提供を否定する条文がないというだけだ。

個人情報保護条例違反であり、法的な義務もない、自衛隊への個人情報提供はやめるべきだ。

**田中** 2018年度の国保税の均等割額は、1人3万1520円、町の子どもの均等割は567万3600円だ。子どもの均等割の軽減の検討を。

**町長** 国の責任でやるべきことだ。

国保の都道府県化のもの

と、県が検討すべきだ。

### 消費税10%中止の声を上げよ

田中克美議員

西垣町長

**田中** 町内の事業所、農漁業者にとって、消費税10%が新たな負担増として経営を脅かす。認識はどうか。

**町長** 消費の落ち込みを招き、特に農漁業では、

**田中** 国のパンフレットでは、複数税率の導入は、すべての事業者に、膨大な実務負担を強いことになる。影響はどうか。

**町長** 消費の落ち込みを招き、特に農漁業では、

**田中** 仕入税額控除に必要なインボイスの発行は、課税業者だけだ。免税業者は、課税業者になるか、取引から排除されるか、買いたたかれるかだ。

**町長** 免税業者が取引から排除されるおそれを懸念している。

**田中** 10%増税による町行政への影響はどうか。

**町長** 消費税額が3813万円増え、地方消費税

**田中** 子育て世代支援という政策目標は、町民の理解が得られる。

**町長** 県が先行してやる中で、町もやっていくという姿勢で臨みたい。

**田中** 病院への影響は。

**平井事業管理者** 控除できない消費税額は、税率1%で600万700万円。導入から30年間で、11億6000万円だ。

**田中** 町民を守るため、10月の増税はするの声を上げてもらいたい。

**町長** これからの議論を見守っていききたい。

消費の落ち込みを招き、特に農漁業では、

消費の落ち込みを招き、特に農漁業では、



10月から消費税率が10%に

# 健康寿命を延ばす取り組みを

升井祐子議員

## 既存の制度の活用で対応

西垣町長



升井祐子議員

ブーム。

スポーツジムは大盛況、単発的に開催される血管年齢や骨密度等の診断には多くの人が集まる。

病院、役場、公民館などの主要な施設に健康の状態を計測できる簡単な器具を配置し、自由に計測できる健康診断を実施してはどうか。

**升井** 岩美町国民健康保険加入者の医療費で高い割合を示しているのは、糖尿病、高血圧症、動脈硬化、脳出血、脳梗塞、がんとなっている。

高額医療費急増のため財政を圧迫していると思われる。

これらの病気のほとんどが、健康診断での早期発見により発病を抑えることが可能である。

本町における受診率は年々低迷している。理由として、時間や場所の限定で受診が難しいという現状があるようだ。

一方で、世の中は健康

くない。

**升井** そこに時間限定でも健康相談に応じたり、器具の使い方を説明する保健師や退職後の看護師等の配置は可能か。

**町長** 健康相談については、毎月1回すこやかセンターで健康相談を実施している。

随時保健師や管理栄養士による相談、また、地区健診の後で健診結果説明会を各地区で行い、個人への説明、相談にも応じているので、施設への

保健師、看護師の配置は考えていない。

毎年10月に行っているすこやかセンターまつりでは、骨密度測定、血管年齢の測定、岩美病院の医師による健康相談も活用し、自らの健康管理に努めていただきたい。

**升井** 町でいろいろな施策を実施しているのは分かるが、行く時間がない、面倒くさいという状況がある。

そこに簡易な運動器具を配置し、運動不足の解消を図ってはどうか。

**町長** 町では、自宅できらわみんエクササイズを作成し、ケーブルテレビで毎日午後7時半から放送している。希望者には、DVDを無料で配布している。

**升井** 簡単な健診や運動器具の設置により、その場所が、お年寄りや若者の情報共有などのおしゃべりの場所になったり、心の広場的なところになればいいと思う。



手続きの待ち時間に気軽に血圧測定する町民 (健康長寿課)

### 健康寿命

2000年に世界保健機関が提唱し、「健康上の問題で日常生活が制限されることなく生活できる期間」と定義されている。

平均寿命と健康寿命の差は、介護などが必要となる期間。

2016年の差は、男性8・84年、女性12・35年で、これを縮めることが社会保障費の抑制につながる。



いわみんエクササイズ (DVDの一場面)



安木晴紀(はるき)さん  
優花(ゆうか)さん

今年度からお世話になることになりました。  
友達をたくさん作って、毎日元氣よく通ってほしいです。



井上謙信(けんしん)さん

入所おめでとう！  
たくさん友達を作って大切にしてください！  
ずっと笑顔でいてね。



田中湊斗(みなと)さん

みなとくん、にゅうえんおめでとう！  
これから、たくさん泣いて、たくさん遊んで、楽しいほいくしよせいかつにしようね。

＊みなみ保育所の新入園児のお父さん・お母さんにお子さんへの思いをききました。(表記の名前は子どもさんです)＊



西村一稀(いつき)さん

たくさん友達を作って、毎日元氣に笑って過ごせますように！



中島 徳(とく)さん

たくさんあそんでね。  
おばあちゃん、おじいちゃん、1歳まで一緒にいてくれてありがとう!!



松本純汰(じゅんた)さん

純汰、入園おめでとう。  
友達をたくさん作って、保育園生活を楽しんでね。

議会だより調査特別委員会

- |    |    |    |    |    |    |    |      |     |
|----|----|----|----|----|----|----|------|-----|
| 委員 | 副委員長 | 委員長 |
| 橋本 | 升井 | 森田 | 吉田 | 寺垣 | 宮本 | 柳村 | 杉村   | 田中  |
|    | 祐子 | 洋子 | 保雄 | 智章 | 純一 | 正敏 | 宏    | 克美  |
|    |    |    |    |    |    |    |      | 義明  |

【発行責任者】

誌面の変化に気が付きましたか。一番の変化は、12ページの「一般質問は町政にどうか」という記事です。小さなことで、当初予算の円グラフに前年度の数字を記載、説明本文を新規事業だけでなく、予算額の大きな事業費と給与費を記載したことです。編集委員一同の目標は、見やすく親しみやすい誌面です。殻を脱ぎ捨てることは易しくありませんが、改善の努力を惜しまず、発行の都度、少しずつでも前進していきたいと思っています。

田中克美

編集後記